

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日

事務事業		地域通貨推進事業		担当課	産業ブランド推進室	担当係	地域通貨係	管理番号	38211	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり	根拠法令 個別計画等	地域通貨導入戦略					
	小項目	4	産業価値の創出							
	主要プロジェクト									
事業概要		地域課題の解決と地域内経済循環の向上を図り、地域一丸となった持続可能なまちづくりを実現するため、地域通貨導入戦略を展開する。								
目的 ※何のために		地域一丸となった持続可能なまちづくりの実現								
対象 ※誰・何を対象に		地域通貨利用者、地域通貨取扱店・販売店								
手段 ※どのように		地域通貨の販売や交付 地域通貨を活用した行政施策の実施								
成果 ※何を求めるか		地域通貨が流通し、市内の取扱店において利用されること まちづくりに住民が参加し、地域課題が解決されること								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を 構成する 予算事業	区分		款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費		地域通貨導入事業	2,403,049,495
本事業の 主な業務	・ 地域通貨導入に関する業務							・		
	・							・		
	・							・		
	・							・		
	・							・		
	・							・		

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		地域通貨運用 マイナポイント事業 ポイントバックキャン ペーン実施	地域通貨運用 マイナポイント事業 ポイントバックキャン ペーン実施 ネギーチャレンジ実施	地域通貨運用 ネギーチャレンジ実施	地域通貨運用		
事業費	予算（現額）	2,785,458,000	2,478,696,000	1,135,720,000	1,757,513,000		
	決算額	2,354,608,181	2,403,049,495	0	0		
	財源内訳	国支出金	331,672,000	182,906,000	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	2,022,936,181	2,155,513,182	1,135,720,000	1,757,513,000	
	一般財源	0	64,630,313	0	0		
人件費	従事職員数（人）	1.50	3.45	3.60	3.60		
	人件費相当試算※	11,804,336.00	27,635,070.00	30,099,240.00	30,099,240.00		
総事業費試算		2,366,412,517	2,430,684,565	1,165,819,240	1,787,612,240		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
成果指標 1	地域通貨活用事業数	目標値	件	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	
		実績値		19.00	38.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			毎年度 10 件の事業にて活用する / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 2	地域通貨取扱店数	目標値	件	654.00	674.00	694.00	714.00	734.00	754.00	
		実績値		844.00	939.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和 2 年度実績を基準とし、毎年 20 件ずつ取扱店数を増やす / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 3	地域通貨発行額	目標値	百万 円	300.00	350.00	400.00	450.00	500.00	550.00	
		実績値		2,662.86	2,877.06					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各年度の予算編成状況による / 実績による						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	マイナポイント事業やポイントバックキャンペーンの実施等、取扱店数や利用者数の拡大に繋がる取り組みを実施することができた。 地域通貨の活用により地域課題の解決を目指す「ネギーチャレンジ」を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	地域通貨活用事業数、地域通貨取扱店数、地域通貨発行額ともに目標を大きく上回る実績となった。
			評価者 産業ブランド推進室 地域通貨係 吉田 雅之

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	地域通貨の販売や店舗における利用等の運用管理、各販売店・取扱店の精算業務等を業者委託し、効率的に事業を実施することができた。
			評価者 産業ブランド推進室 地域通貨係 吉田 雅之

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	地域通貨推進事業	担当課	産業ブランド推進室	担当係	地域通貨係	管理番号	38211
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>各成果指標について、目標値を上回る実績を達成することができた。引き続き、地域通貨の発行額や取扱店、利用者等の拡大に向けた施策に取り組んでまいりたい。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	次長兼産業ブランド推進室長 福島 正孝				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

